

BCP策定はBCMへの出発点だ！ — 株式会社 ヌースフィット —

企業概要・沿革

当社は、1959年現社長の父亀ヶ森進氏が創業、主に理美容サロン向けの業務用化粧品・医薬部外品の製造販売を行う企業である。

創業以来、製造販売のみならず、毛髪的基础研究を続け、業界誌や専門誌等への記事・論文を投稿するほか、理美容師への毛髪に関する技術や啓蒙指導活動をおこなっている。

そのような取組が、（公財）高輝度光科学研究センター（SPring-8）の重点産業利用課題にも採択され、新しいパーマシステムの開発（FNCS）等、基礎研究による開発と自社での製造が同社の強みである。

近年、当社はヘアケア中心からスキンケア製品の開発にも取り組んでいる。



当社 舟渡ワークス 全景

毛髪科学講習会風景（神戸会場）

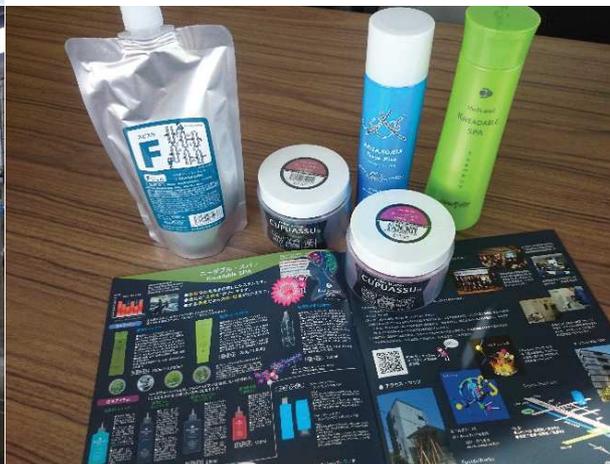


理美容師との活発な交流

当社は、創業以来理美容師との交流も活発で、単なる販売促進を目的としたものではなく、毛髪科学を応用して技術開発を目指す勉強会に熱心に取り組んでおり、講習会は全国各地で開催され、毎回多数の理美容師が参加している。



製造設備の中核となる攪拌装置



代表的な毛髪製品と製品カタログ

BCP策定への取り組んだ理由

当社工場（舟渡ワークス）は、製造設備が4階建てビルの2階部分にあり、製造の中核を担う乳化槽の地震等での損傷は修復に相当の期間を要する。このため、設備の発注元に耐震対策等を相談したものの対応が難しく、3・11の時は被害を免れたものの、かねてから地震対策は懸案であった。

しかし、今年ISO9001の認証を得て、あらためて防災・復旧対策への取り組みが課題となり、また、BCPへの取組も出来る事から取組む事例を知り、自社なりに出来る事から取り組もうと考えた。

2017年11月、板橋区の製造業実態調査時に、区がBCP簡易モデルの企業への導入を勧めていることを知り、しかも訪問支援を実施することと、この機会を利用してBCP策定を決意した。



株式会社 ヌースフィット
代表取締役 亀ヶ森 統

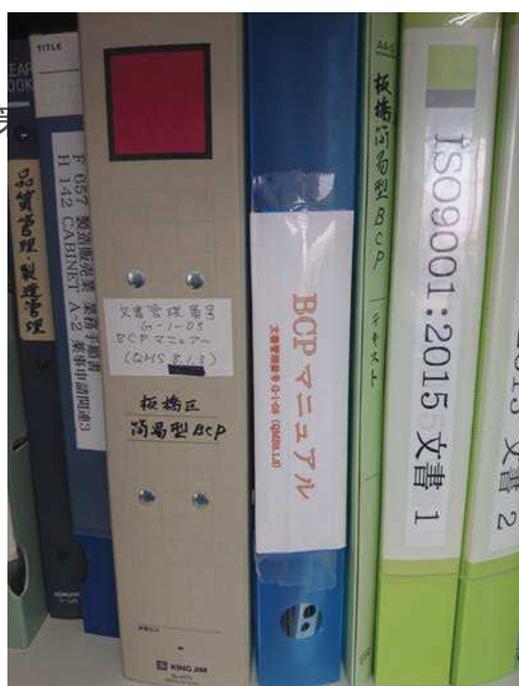
策定にあたり特に注力した点

当社は、認証取得したISO9001の一環として防災・避難訓練を実施、緊急避難連絡網の整備等を行っており、BCPもそのISOのPDCA活動の必須のプロセスとして組み込む意向である。

そのポイントとして、どのような被災に対してもそれに対応した計画づくりであり、特に社員の安全確保と、製造設備の迅速な復旧態勢の構築に注力すること。

そのため、状況の変化に即応して、必要な情報の更新は発生都度、則応する方針としている。

策定されたBCP及び関連文書類



BCP策定の感想・効果

BCPを策定して間もない現時点で、その効果を云々するのは尚早であるが、災害に対する社員の意識の変化を感じている。その一例として、新聞やテレビ等での災害報道を自社での被災に置き換えて考える態となってきている。

今回のBCP策定での指導により、災害と復旧について多面的に考える態勢となったことも大きな利点と考えている。3回の指導であったが、この機会を得られた事は非常に有益であったと感じている。

事業者情報

事業者名	株式会社 ヌースフィット
事業所所在地	豊島区巣鴨1-23-10（本社） 板橋区舟渡3-28-11（舟渡ワークス・製造・オフィス業務担当）
設立	平成12（2000年）年4月
資本金	2,000万円
従業員数	20名
代表者	亀ヶ森 統
Tel	03-3966-1811（舟渡ワークス）
E-mail	info@nousfit.co.jp